

8 月 15 日 : VN 指数は終始軟調に推移 (VN-Index -0.56%)

- 中国のCPIなどが低調であることに加え、直近で発表される米国の経済指標に対する警戒感があることから、本日のVN指数は慎重な取引で始まった。
- 化学、小売、金融セクターが軟調に推移し、指数を前日終値の下に押し下げた。
- 後場には売りがより一層優勢となり、下落幅をさらに拡大させた。
- すべてのセクターで更なる下落を記録した。特に化学、素材、金融セクターの下げが顕著であった。
- 109 銘柄が上昇、301 銘柄が下落、64 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性はさらに下落し、10.0 兆ドンであった。

VN30 指数も緩やかに下落 (VN-30 -0.40%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、5 銘柄が上昇し、22 銘柄が下落、3 銘柄が変動なしであった。
- VHM (+1.75%)、VIB (+0.97%)、HDB (+0.97%)が指数の上昇を試みた。
- その一方で、GVR (-2.25%)、POW (-2.25%)、MSN (-1.96%)の下落が足を引っ張った。

セクター・個別株の動き

- CTR (-1.16%)が好調であった 7 月の業績を発表。税引き前利益は 577 億ドン（前年同月比+1%）とほぼ変わらなかったものの、売り上げは 1.13 兆ドン（同 +11%）と増加した。
- PVD (-1.12%)の主力製品である PV Drilling V がマレーシアのボコール油田での掘削作業の再開に大きく貢献した。このドリルを用いたことで効率化され、マレーシアの平均よりも 1 か月早く掘削を終了させたという。
- 外国人投資家は 1190 億ドンの買い越しとなった。VNM (+1.75%)、VHM (+1.75%)にはそれぞれ 1000 億ドンを超える買い越しが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。